



高齢者・障害者の自立生活は国際的な課題 H.C.R.2006 9月27日から3日間開催 第33回国際福祉機器展 H.C.R. 2006 開催要項	1
平成18年度社会福祉関係予算 (平成18年度政府予算案より)	2
国際情勢報告 REHA Care International レポート	4
ヨーロッパにおける福祉機器①	5

福祉の現場を訪ねて 障害のある子どもたちの 相談を受け続けて	6
インフォメーション 新刊本のご案内 「英国の医療・福祉制度の歩みと展望」 海外展示会スケジュール	8

編集・発行:財団法人 保健福祉広報協会 Publisher: Health and Welfare Information Association

住所:〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル TEL.03-3580-3052 FAX.03-5512-9798 定価1部 200円(消費税・送料込)

<http://www.hcr.or.jp>

人口の高齢化は今や国際的な課題です。2025年までに先進国では人口の25%が65歳以上になり、そのうち15%が75歳以上になると言われています。高齢化社会では、サービスを必要とする高齢者が増加しますが、少子化などにより介護や福祉に従事する若年労働者が減少します。今後、世界各地で労働力の確保が課題となると考えられます。

福祉機器は、近年、IT技術の進歩などにより開発が進み、生活機能の低下した高齢者や障害者の身体機能を補完し日常生活に便宜をはかるために、欠かせない存在です。世界的に少子高齢化が進むなか、国際交流により福祉機器の開発・普及を一層推進していく必要があります。

福祉機器の開発・普及は利用者中心におこなわなければなりません。利用者の声を常に反映させる仕組みづくりと、適切に選び使っていくためのソフトの普及に取り組んでいく必要があります。

H.C.R.では、これまで機能やデザインの優れた欧米の車いすや家具を紹介するなど国内外の関係機関とのネットワークをもとに世界の福祉機器に関する

高齢者・障害者の自立生活は国際的な課題

H.C.R.2006 9月27日から3日間開催



情報を広く発信してまいりました。また、選び方・使い方セミナーやリハビリなどの相談コーナーを設置し、知識の普及や各国の利用者、メーカー、福祉サービス従事者たちの国際交流をはかってまいりました。

昨年の国際福祉機器展(H.C.R. 2005)では、海外の福祉機器について来場者の56.1%が機能を、39.7%がデザインを参考になったとし、海外出展社の57.8%が新規のビジネスコンタクトを得たとアンケートに回答しています。

その一方、利用者への福祉機器情報の提供はまだ不十分で、来場者の54.1%が「福祉機器情報を簡単に得られるようにしてほしい」と希望しています。

本年の「第33回国際福祉機器展 H.C.R. 2006」は9月27日(水)～29日(金)にかけて東京ビッグサイトにおいて開催いたします。

現在、2月1日から出展募集を開始し、3月15日現在、15ヶ国245社超から出展申込みをいただいているほか、新規出展のお問い合わせも多数寄せられております。

本会では、世界の最新福祉の情報を総合的に提供するためH.C.R. 2006のさらなる充実と発展に努め、もって、高齢者や障害者の自立を支えるよう取り組んでまいります。皆様のご参加、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第33回国際福祉機器展 H.C.R. 2006 開催要項

●主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
●後援(予定)	厚生労働省 経済産業省 総務省 国土交通省 東京都 海外参加国大使館
●期日	平成18年9月27日(水)～29日(金)【3日間】
●開場時間	午前10時～午後5時
●会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」 (東京都江東区有明3-21-1)
●入場料	無料(入場者登録制:事前もしくは当日)
●出展社数	600社(予定) 【国内企業500社、海外企業100社】
●来場者数	13万人(予定) 主な来場者:ケアマネジャー、ホームヘルパー、福祉施設職員、福祉団体職員、医師、看護師、PT、OT、建築・設計関係者、製造業、販売業、行政、エンドユーザー、福祉・医療工学系学生、一般

●出展製品

1. 福祉機器

- (1) 移動機器、移動補助製品: 手動車いす、電動車いす、電動三輪・四輪車、自転車、介助車、歩行器・歩行補助車、杖、ストレッチャー等移動器具、移乗補助機器、床走行リフト、固定式・据置式リフト、障害者用自動車運転装置、車いす等用福祉車両、入浴用特殊車両
- (2) ベッド関連用品: ベッド、マットレス、床ずれ防止製品、サイドテーブル、介護用シーツ
- (3) 入浴用品: 浴槽、入浴用チェア、滑り止め用品、浴槽台、入浴用リフト
- (4) トイレ・おむつ関連用品: ポータブルトイレ、便器・便座、防臭剤・消毒剤、おむつ
- (5) 日常生活用品: いす・座位保持/立ち上がり補助用品、テーブル、家具、洗面台、食器・食器、キッチン、調理器、衣類、靴、着脱衣補助具、介護関連用品
- (6) コミュニケーション機器: 補聴器、緊急通報・警報装置、障害者用ワープロ・コンピュータ、点字プリンター、OA入力・操作補助具、障害者用ソフトウェア、拡大読書器、福祉電話、FAX、携帯会話補助器、視覚障害者用誘導システム
- (7) 建築・住宅設備: スロープ、手すり、エレベーター、

段差解消機、階段昇降機

(8) リハビリ機器: 歩行等訓練機器、リハビリ用教材・機器

(9) 義肢・装具

(10) 高齢者・障害者用防災用品

2. 施設用設備・用品

施設用床材・壁材、洗濯機・乾燥機、消毒機、脱臭器・空気清浄器、介護従事者用衣類

3. 在宅・施設サービス経営情報システム

在宅・施設福祉サービス事業運営に関する財務・経理等のコンピュータシステム、ケアプランシステム・介護保険・支援費制度関連事務のコンピュータシステム

4. 介護予防機器

筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器、口腔ケア用品

5. 出版・福祉機器情報

福祉・介護・リハビリ・保健関係書籍、情報誌、新聞、放送通信、福祉機器関連webサイト

H.C.R. 2006主催事務局

(財)保健福祉広報協会 (<http://www.hcr.or.jp>)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL.03-3580-3052、FAX.03-5512-9798